

次の総選挙で 日本共産党も含めた

野党連合政権をつくろう！！

衆議院議員

藤野やすふみ氏 安曇野市で訴え

10月4日、安曇野市サンモリッツで藤野保史衆議院議員が講演し、次のように訴えました。



1 「日本学術会議 人事介入」 菅首相の危険な本質

菅首相が日本学術会議の推薦した6人を任命しないことは、学術会議・学問の自由への介入であり、国民の権利への侵害である。気にいらぬ者は排除する菅政権の危険な本質があらわになった。

日本共産党の 野党連合政権への政策

ケアに手厚い社会へ

医療、介護、保育・・・
命を守る労働を大切に

人間らしく働けるルール

8時間働けば、普通に暮らせる
社会に

一人ひとりの学びを保障する

子どもたちに少人数学級の
プレゼントを

消費税の減税を

格差をただし、家計応援の
経済政策に

民主主義・立憲主義の回復

国政私物化疑惑・モリ・カケ・
桜の真相解明

憲法を守り、生かす

9条をそのまま次の世代に
手渡す

ジェンダー平等

コロナ危機の対応に
この視点をつらぬいて

2 行き詰まった安倍政治の 継承では未来はない

菅首相の打ち出している「安倍政治の継承」は「森友・加計・桜」疑惑に蓋をし、場当たり的な新型コロナ対策などの行き詰まった安倍政治の継承であり、未来はない。

3 支え助けあう社会へ転換を

菅首相の「自助・共助・公助」・「自己責任」の強調は、コロナ禍で生きることが精一杯の非正規労働者や中小企業者にさらなる「自己責任」を押し付けるものである。医療や教育など人が生きるために必要なものを応援し、国民の暮らしを支える「公助」こそが政治の仕事である。

4 本気で政権をとりにいく！

日本共産党は、「野党が今度の総選挙で本気で政権をとる」と宣言し、共産党を含めた政権構想を示すことを強く求めている。共産党は“野党連合政権の実現”に全力を尽くす。